



テクニカル・メッセージ

**プライミングポンプのノブが締めきっていないと
燃料のにじみや始動性の悪化を招くおそれがありますのでご注意ください**

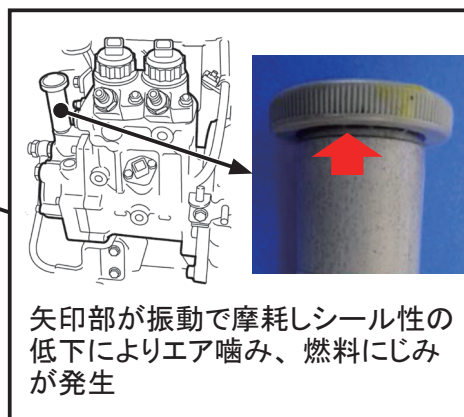
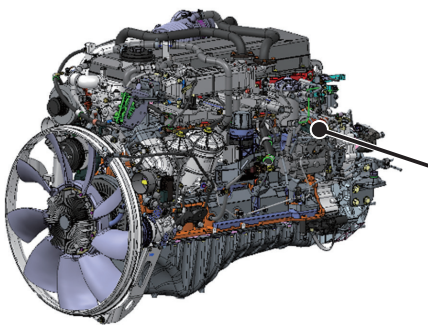
プライミングポンプによる燃料経路のエア抜き作業を終えノブを格納する際、ノブが締めきっていないと、車両の振動でプライミングポンプのシール部が摩耗し、燃料のにじみや始動性の悪化を招くことがあります。エア抜き作業等でプライミングポンプのノブを緩めた際は、作業後にノブが右いっぱいには締まっていることを確認していただけますようお願い致します。

■ 対象車両

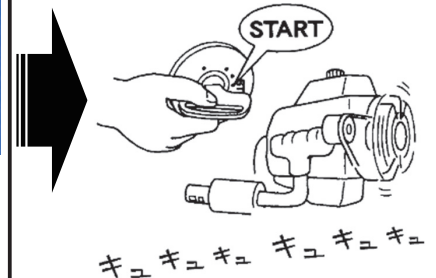
ねじ込み式構造のプライミングポンプ装着車

■ 不具合事例

<E13Cエンジンの事例>

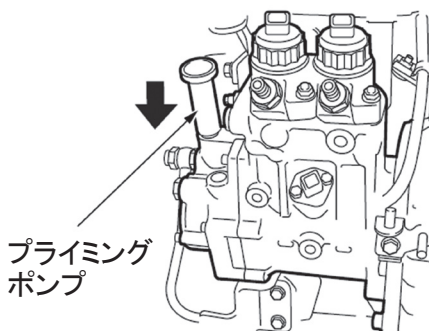


始動性の悪化



■ プライミングポンプのノブ締め付けについて（整備解説書の抜粋）

- ・ プライミングポンプを押しつけた状態で右いっぱいに締め付けてください。
- ・ プライミングポンプを格納する際、無理にねじ込むとかみ込みを起こすことがありますので注意してください。
- ・ プライミングポンプが確実に締まっていることを確認してください。
- ・ 作業終了後はエンジン始動後に燃料が漏れていないことを確認してください。



エンジンによって、プライミングポンプのノブの向きや搭載位置が異なることがありますので、詳細を確認する際は、整備解説書または、取扱説明書をご参照ください。